

登録番号 第 23886 号

## トリプルキック®箱粒剤

●1成分で2つの作用性（メラニン生合成阻害 MBI-P と病害抵抗性修道）を持つ有効成分トルプロカルブを配合し、いもち病菌を強力にブロックします。

特長： ●シメコナゾール配合で、紋枯病・稲こうじ病・墨黒穂病・穂枯れ（ごま葉枯病菌）にも効果があります。

●シアントラニプロール配合で、初期害虫・チョウ目害虫・イナゴ類等を長期間防除できます。

●側条施用でも使用できます。

有効成分	シアントラニプロール・・・0.75% シメコナゾール・・・4.5% トルプロカルブ・・・9.0%	包装	1kg×12 3kg×6 10kg×1 (JA)
性状	類白色細粒	有効年限	5年
毒性	普通物*	危険物	-

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 【適用病害虫及び使用方法】

2023年3月8日付内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	イネトイムシ イネズグムシ コメイト フタトコガ イネトムシ いもち病 紋枯病 稲こうじ病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 墨黒穂病 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り 50g	移植3日前～ 移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する。
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)			
	イナゴ類 イシメダカ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り 50g	移植当日		
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)			
稲	イネトイムシ イネズグムシ いもち病 紋枯病	1kg/10a	移植時	1回	側条施用

シアントラニプロールを含む農薬の 総使用回数	シメコナゾールを含む農薬の 総使用回数	トルプロカルブを含む農薬の 総使用回数
1回	2回以内 (移植前は 1回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での湛水散布、無人航空機散布、 投げ入れは合計1回以内)

#### 使用上の注意事項

- (1) 本剤を育苗箱に処理する場合は、次の注意事項を守ること。
  - 1) 育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約 5L) 1 箱当りに乾糶として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1 箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整すること。
  - 2) 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
  - 3) 本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植すること。育苗箱に高密度には種した場合は、とくに注意して葉に付着した薬剤を払い落とすこと。
  - 4) 葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、散布ムラがないよう均一に散布すること。(2) 本剤を移植時に使用する場合は、専用の移植同時施薬機を用い、側条施用すること。
- (2) 本剤を移植時に使用する場合は、専用の移植同時施薬機を用い、側条施用すること。
- (3) 容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理すること。
- (4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。

#### 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

#### 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

#### 貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。